



2024年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月14日
東

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所
 コード番号 7446 URL <https://www.t-kagaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 康之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理グループ総務部長 (氏名) 相馬 俊一 (TEL) 0172-33-8131
 定時株主総会開催予定日 2024年12月19日 配当支払開始予定日 2024年12月20日
 有価証券報告書提出予定日 2024年12月20日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期の連結業績(2023年10月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	32,155	△8.4	353	△53.0	407	△49.5	237	△57.3
2023年9月期	35,094	△6.0	750	△20.4	808	△19.4	556	△15.4

(注) 包括利益 2024年9月期 333百万円(△51.8%) 2023年9月期 691百万円(40.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	263.54	—	3.3	2.3	1.1
2023年9月期	617.29	—	8.1	4.4	2.1

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	17,239	7,507	43.0	8,233.87
2023年9月期	18,920	7,269	38.0	7,971.19

(参考) 自己資本 2024年9月期 7,418百万円 2023年9月期 7,182百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	△1,043	△107	△209	744
2023年9月期	1,268	△335	△95	2,106

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年9月期	—	0.00	—	105.00	105.00	94	17.0	1.4
2024年9月期	—	0.00	—	105.00	105.00	94	39.8	1.3
2025年9月期 (予想)	—	0.00	—	100.00	100.00		26.5	

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日~2025年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,900	1.7	270	△2.2	305	1.0	190	△9.8	210.88
通 期	33,700	4.8	420	18.9	490	20.1	310	30.6	344.07

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2024年9月期	960,000株	2023年9月期	960,000株
2024年9月期	59,011株	2023年9月期	58,977株
2024年9月期	901,014株	2023年9月期	901,023株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年9月期の個別業績 (2023年10月1日~2024年9月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	24,726	△9.7	345	△49.8	393	△46.8	230	△53.5
2023年9月期	27,384	△3.4	687	△13.2	738	△12.7	495	△9.5
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年9月期	255.69		—					
2023年9月期	549.54		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2024年9月期	13,638		7,029		51.5	7,802.34		
2023年9月期	15,180		6,805		44.8	7,552.81		

(参考) 自己資本 2024年9月期 7,029百万円 2023年9月期 6,805百万円

2. 2025年9月期の個別業績予想 (2024年10月1日~2025年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	13,000	0.9	285	△1.7	175	△14.8	194.23	
通 期	26,000	5.1	440	11.9	300	30.3	332.97	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
(6) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やマイナス金利政策の解除などもあり、景気は持ち直しに向かう動きがありました。しかしながら、長期化するウクライナ紛争、中東問題及び中国の景気後退などの悪影響を受け、経済の先行きに係る不透明な状況が続いており、予断を許さない状況にあります。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境の変化に対応するため体質を強化し、積極的な営業活動をしてまいりました。

この結果、前連結会計年度と比べ、売上高は、321億55百万円と29億38百万円（前連結会計年度比△8.4%）の減収、営業利益は、3億53百万円と3億97百万円（前連結会計年度比△53.0%）の減益、経常利益は、4億7百万円と4億0百万円（前連結会計年度比△49.5%）の減益、親会社株主に帰属する当期純利益は、2億37百万円と3億18百万円（前連結会計年度比△57.3%）の減益となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

（インダストリー）

国内製造業は、継続する諸原料やエネルギーの高騰の悪条件に苦しんでいるもののインバウンドの復活や猛暑による季節的な特需が功を奏して順調に推移いたしました。

この結果、売上高は、160億98百万円と14億26百万円（前期比△8.1%）の減収、セグメント利益(売上総利益)は、15億78百万円と56百万円（前期比△3.4%）の減益となりました。

（メディカル）

試薬や消耗品は、新規採用により増加しましたが、各施設で新型コロナウイルス感染症の検査数の減少や検査方法の変更により前期を下回りました。

この結果、売上高は、141億25百万円と12億61百万円（前期比△8.2%）の減収、セグメント利益(売上総利益)は、13億35百万円と1億95百万円（前期比△12.8%）の減益となりました。

（アカデミア・ライフサイエンス）

大阪万博と能登半島地震の影響で大型案件の先送りや計画していた案件の予算化が先送りされたことなどにより前期を下回りました。

この結果、売上高は、19億31百万円と2億51百万円（前期比△11.5%）の減収、セグメント利益(売上総利益)は、付加価値の高い商品の販売等で、2億26百万円と46百万円（前期比26.1%）の増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、16億81百万円減少し、172億39百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、19億19百万円減少し、97億31百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億38百万円増加し75億7百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は、116億93百万円(前連結会計年度は、136億18百万円)となり、19億25百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が、14億31百万円及び受取手形及び売掛金が4億90百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は、55億45百万円(前連結会計年度は、53億2百万円)となり、2億43百万円減少しました。これは主に、ソフトウェア仮勘定が4億19百万円減少したもののソフトウェアが3億12百万円、リース投資資産が2億41百万円及び投資有価証券が1億55百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は、87億11百万円(前連結会計年度は、108億72百万円)となり、21億61百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が18億13百万円及び未払金が1億22百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は、10億20百万円(前連結会計年度は、7億78百万円)となり、2億41百万円増加しました。これは主に、長期リース債務が2億27百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、75億7百万円(前連結会計年度は、72億69百万円)となり、2億38百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が1億42百万円及びその他有価証券評価差額金が88百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、7億44百万円と前連結会計年度末に比べ13億61百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において営業活動の結果支出した資金は、10億43百万円(前連結会計年度は12億68百万円の取得)となりました。これは主に、売上債権の増加額5億29百万円及び税金等調整前当期純利益が3億80百万円あったものの仕入債務の減少額が18億34百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において投資活動の結果支出した資金は、1億7百万円(前連結会計年度3億35百万円の支出)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入75百万円あったものの無形固定資産の取得による支出1億8百万円及び有形固定資産取得による支出64百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において財務活動の結果使用した資金は、2億9百万円(前連結会計年度は95百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額94百万円及びリース債務の返済による支出53百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期
自己資本比率 (%)	38.5	38.6	37.7	38.0	43.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	21.4	19.5	16.6	17.7	18.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.9	2.2	0.7	0.5	△0.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	223.3	307.0	504.2	568.6	△377.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としていません。

(4) 今後の見通し

わが国経済は、ロシアウクライナ問題、中東問題の影響で先行きは不透明であり、当社グループに与える影響についても予想が困難であると考えられます。

当社グループといたしましては、今後とも化学工業・医療の進歩に寄与するという専門商社としての使命を自覚し、積極的な営業方針のもと、高度化・多様化するユーザーニーズにきめ細かく応えていく所存であります。

次期の業績見通しは、ロシアウクライナ問題の長期化やエネルギー等の物価上昇することを勘案して見通しを作成しております。前連結会計年度と比べ売上高が、337億円と15億44百万円(前連結会計年度比4.8%)の増収、営業利益が、4億20百万円と66百万円(前連結会計年度比18.9%)の増益、経常利益が、4億90百万円と82百万円(前連結会計年度比20.1%)の増益、親会社株主に帰属する当期純利益が3億10百万円と72百万円(前連結会計年度比30.6%)の増益を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対して継続的な安定配当を維持していくことを経営の重要政策として位置づけており、今後とも株主利益率の向上を図る方針であります。また、更なる利益追求によって、株主に応えてまいります。

内部留保金につきましては、今後の事業展開に対応した財務体質の強化を図り事業拡大に努めるよう有効に活用してまいります。

当期の配当金につきましては、上記方針に従い、前期同様に105円(期末配当105円)の配当を実施することといたしました。

次期の配当金につきましては、上記方針に従い普通配当として1株につき5円減配し、100円(期末配当100円)の配当を予定しております。

(6) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,195,476	763,789
受取手形、売掛金及び契約資産	9,569,548	9,078,832
電子記録債権	362,903	332,501
商品	1,120,125	1,057,176
リース投資資産	56,576	94,789
その他	314,039	370,760
貸倒引当金	△60	△4,245
流動資産合計	13,618,611	11,693,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,861,747	1,919,123
減価償却累計額	△1,323,232	△1,354,927
建物及び構築物（純額）	538,514	564,195
土地	1,495,006	1,473,431
リース資産	302,953	312,669
減価償却累計額	△144,857	△182,115
リース資産（純額）	158,095	130,554
その他	461,674	461,454
減価償却累計額	△123,729	△124,638
その他（純額）	337,944	336,816
有形固定資産合計	2,529,561	2,504,997
無形固定資産		
リース資産	15,283	15,831
ソフトウェア	12,637	325,238
ソフトウェア仮勘定	419,885	—
無形固定資産合計	447,806	341,070
投資その他の資産		
投資有価証券	1,633,932	1,789,876
リース投資資産	69,413	311,315
差入保証金	553,125	514,654
その他	89,913	105,861
貸倒引当金	△21,624	△21,903
投資その他の資産合計	2,324,760	2,699,804
固定資産合計	5,302,128	5,545,872
資産合計	18,920,740	17,239,477

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,588,734	7,775,328
電子記録債務	371,971	365,227
短期借入金	233,400	146,000
1年内返済予定の長期借入金	14,280	28,680
リース債務	99,378	140,363
未払金	158,886	36,604
未払法人税等	100,298	37,291
賞与引当金	57,450	56,910
その他	248,553	125,073
流動負債合計	10,872,953	8,711,479
固定負債		
長期借入金	27,410	38,730
リース債務	201,836	429,619
繰延税金負債	282,841	304,843
退職給付に係る負債	80,365	67,090
役員退職慰労引当金	142,012	118,798
その他	44,232	61,343
固定負債合計	778,697	1,020,425
負債合計	11,651,650	9,731,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	4,946,792	5,089,637
自己株式	△168,907	△169,040
株主資本合計	6,479,385	6,622,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	697,779	786,144
退職給付に係る調整累計額	5,057	10,387
その他の包括利益累計額合計	702,836	796,531
非支配株主持分	86,867	88,942
純資産合計	7,269,089	7,507,572
負債純資産合計	18,920,740	17,239,477

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	35,094,627	32,155,676
売上原価	31,750,175	29,016,058
売上総利益	3,344,452	3,139,618
販売費及び一般管理費	2,593,455	2,786,360
営業利益	750,996	353,257
営業外収益		
受取利息	3,644	2,608
受取配当金	43,328	49,479
受取手数料	12,106	11,990
雑収入	8,212	10,893
その他	192	920
営業外収益合計	67,484	75,892
営業外費用		
支払利息	2,231	2,765
支払手数料	2,274	450
貸倒損失	—	13,012
雑損失	5,618	1,410
投資事業組合運用損	—	3,536
営業外費用合計	10,124	21,176
経常利益	808,356	407,974
特別利益		
固定資産売却益	200	—
投資有価証券売却益	—	14,904
特別利益合計	200	14,904
特別損失		
固定資産除却損	244	4,535
投資有価証券売却損	1,232	—
投資有価証券評価損	1,426	—
減損損失	671	38,143
ゴルフ会員権売却損	300	—
その他	22	—
特別損失合計	3,897	42,678
税金等調整前当期純利益	804,659	380,200
法人税、住民税及び事業税	237,388	157,861
法人税等調整額	668	△17,307
法人税等合計	238,056	140,554
当期純利益	566,602	239,645
非支配株主に帰属する当期純利益	10,408	2,192
親会社株主に帰属する当期純利益	556,194	237,452

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
当期純利益	566,602	239,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	118,098	88,247
退職給付に係る調整額	6,557	5,330
その他の包括利益合計	124,655	93,577
包括利益	691,258	333,223
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	680,775	331,148
非支配株主に係る包括利益	10,482	2,075

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	820,400	881,100	4,494,215	△168,907	6,026,808	579,755	△1,499	578,255	76,384	6,681,448
当期変動額										
剰余金の配当			△103,617		△103,617					△103,617
親会社株主に帰属する当期純利益			556,194		556,194					556,194
自己株式の取得				—	—					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						118,024	6,557	124,581	10,482	135,063
当期変動額合計	—	—	452,577	—	452,577	118,024	6,557	124,581	10,482	587,640
当期末残高	820,400	881,100	4,946,792	△168,907	6,479,385	697,779	5,057	702,836	86,867	7,269,089

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	820,400	881,100	4,946,792	△168,907	6,479,385	697,779	5,057	702,836	86,867	7,269,089
当期変動額										
剰余金の配当			△94,607		△94,607					△94,607
親会社株主に帰属する当期純利益			237,452		237,452					237,452
自己株式の取得				△132	△132					△132
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						88,364	5,330	93,695	2,075	95,770
当期変動額合計	—	—	142,845	△132	142,712	88,364	5,330	93,695	2,075	238,483
当期末残高	820,400	881,100	5,089,637	△169,040	6,622,097	786,144	10,387	796,531	88,942	7,507,572

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	804,659	380,200
減価償却費	79,809	168,489
減損損失	671	38,143
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,426	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	1,232	△14,904
固定資産売却損益 (△は益)	△200	—
固定資産除却損	244	4,535
投資事業組合運用損益 (△は益)	—	△3,536
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,743	4,463
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△650	△540
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,754	△5,605
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10,634	△23,214
受取利息及び受取配当金	△46,972	△52,088
支払利息	2,231	2,765
売上債権の増減額 (△は増加)	△221,402	529,006
棚卸資産の増減額 (△は増加)	38,183	62,949
仕入債務の増減額 (△は減少)	841,319	△1,834,992
その他	54,452	△131,091
小計	1,558,142	△875,420
利息及び配当金の受取額	46,969	52,074
利息の支払額	△2,231	△2,765
法人税等の支払額	△334,154	△217,756
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,268,726	△1,043,867
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△100,733	△64,772
有形固定資産の売却による収入	200	—
無形固定資産の取得による支出	△248,910	△108,013
投資有価証券の取得による支出	△42,886	△55,945
投資有価証券の売却による収入	8,767	34,448
投資事業組合からの分配による収入	—	2,001
定期預金の預入による支出	△89,202	△5,000
定期預金の払戻による収入	139,202	75,000
貸付金の回収による収入	120	3,290
保険積立金の積立による支出	△4,061	—
保険積立金の解約による収入	—	8,752
その他	2,117	2,395
投資活動によるキャッシュ・フロー	△335,385	△107,842

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,512,000	3,759,000
短期借入金の返済による支出	△2,449,400	△3,832,000
長期借入れによる収入	—	43,600
長期借入金の返済による支出	△14,280	△32,280
自己株式の取得による支出	—	△132
リース債務の返済による支出	△40,331	△53,524
配当金の支払額	△103,507	△94,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	△95,518	△209,977
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	837,821	△1,361,687
現金及び現金同等物の期首残高	1,268,452	2,106,274
現金及び現金同等物の期末残高	2,106,274	744,586

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、化学工業薬品・化学工業薬品関連機器、臨床検査試薬・臨床検査試薬関連機器、食品・食品関連機器、農薬・農薬関連機器の販売を行っており、販売先別に営業グループを置き、各営業グループは、取扱う商品について戦略を立案し、営業活動を展開しております。従いまして、当社の報告セグメントは「インダストリー」「メディカル」「アカデミア・ライフサイエンス」から構成されております。

当連結会計年度より、会社組織の変更に伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「化学工業薬品」「臨床検査試薬」「食品」「その他」から、「インダストリー」「メディカル」「アカデミア・ライフサイエンス」に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

なお、当社グループでは事業セグメントへの資産の配分は行っておりません。

3 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	連結損益計算書計上額 (注)
	インダストリー	メディカル	アカデミア・ ライフサイエンス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,524,705	15,386,950	2,182,971	35,094,627	—	35,094,627
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	17,524,705	15,386,950	2,182,971	35,094,627	—	35,094,627
セグメント利益	1,634,182	1,531,022	179,246	3,344,452	—	3,344,452

(注)セグメント利益は、連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	連結損益計算書計上額 (注)
	インダストリー	メディカル	アカデミア・ ライフサイエンス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,098,573	14,125,187	1,931,915	32,155,676	—	32,155,676
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	16,098,573	14,125,187	1,931,915	32,155,676	—	32,155,676
セグメント利益	1,578,019	1,335,498	226,099	3,139,618	—	3,139,618

(注)セグメント利益は、連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載は省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載は省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載は省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載は省略しております。

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載は省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載は省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載は省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載は省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社グループは、固定資産の減損損失について事業セグメント別には配分しておりません。減損損失の金額は、38,143千円であり、内容は土地、建物及び構築物、その他（車輛運搬具）及びリース資産によるものであります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	7,971円19銭	8,233円87銭
1株当たり当期純利益	617円29銭	263円54銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	556,194	237,452
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	556,194	237,452
普通株式の期中平均株式数(株)	901,023	901,014

(重要な後発事象)

該当事項はありません。